

## 特集 チャレンジ大阪 5

### 〈開会挨拶〉

地方独立行政法人 大阪市立工業研究所  
理事長 中許 昌美 氏



皆さん、こんにちは。お手元の資料にありますように、「ものづくり企業を強力にサポート 技術開発のパートナー 大阪市立工業研究所」の中許です。本日はたくさんの方々にご参集いただきまして、本当にありがとうございます。このチャレンジ大阪は大阪商工会議所様、生産技術振興協会様、そして私ども大阪市立工業研究所の三者が強く連携し、私どもの研究の成果を企業の皆様方につなげていただくという機会を持たせてもらって、今回で5回目を迎えることになりました。

大阪市立工業研究所は、化学、高分子、食品・バイオ、最近ではナノテク材料といったものの開発、新材料・新素材の開発を得意としている研究所でございます。昨今の世の中のものづくり分野は拡大し、化学の分野だけでなく物理の分野とも関係を深めていくような融合領域が広がってきています。私どもは化学が強いからといって、他の分野の方々が私どもの研究所を利用できないということはなく、我々も日々の研さんを深め、研究活動をより幅広くしているところです。チャレンジ大阪はこれまでに4回開催しています。バイオ技術、太陽電池関連のナノテク材料、金属・プラスチックの開発や加工プロセス、そして前回は高分子系ハイブリット材料の話題

提供を大阪市立工業研究所で開催し、施設見学会も行いました。

これらとは別に第2回目の時にご紹介しましたように、化学系の研究所であるにもかかわらずLEDの評価支援のための「次世代光デバイス評価支援センター」を開設し、今では多くの企業の方々に利用していただくようになりました。我々としても、LEDに関連する材料開発を進めていこうと取り組んでおります。そのような新材料、新素材の開発を一生懸命やっておりますので、本日の話題提供はその中から耐熱、放熱材料の2テーマに加え、これから市場開拓が期待できる介護食関係材料の講演をさせていただきます。

このような場でまずお話を聴いていただいて、後日あらためて研究所を訪ねていただくとか、あるいは本日の講演後に予定されている交流会で何かきっかけになるようなお話を少ししていただく。そのことが、私どもが皆様方のパートナーとして研究開発などでご一緒させていただけるきっかけになるかと思っております。本日の「チャレンジ大阪5」が皆様方にとりましても、私ども大阪市立工業研究所にとりましても有意義なものとなりますことを祈念いたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。